



クラスに一人はいる奴の詩片

二重跳びさえできない僕は校庭の隅に座っていたよ
君がどこにいたか僕は知ってるよ
さえない連中と縄跳びしてたんだろ 僕は見ていたよ

次のかけっこ

どうせ僕はびりっけつだろうから休むけど 君のかけっこは見ているよ
君は後ろから何番目になるんだろうね
また見させてもらうよ

パアァン！

クラスに一人の僕らはね データで満足することはない

今日も探し回るんだ 生きてる人を探すんだ

どいつもこいつも 人工知能

彼らの中で泳ぐ僕ら まるでこちらはBotのようだ

今日も計算 明日も計算 昨日も計算 いつでも計算

算数ばかり下見てばかり

シューゲイザーの彼らには ドゥームな世界見せてやろう

彼らの思考はマイナスに飛び 僕らの存在

浮き彫り

になる